

新学術領域「社会階層と健康」市民公開シンポジウム

新学術領域「社会階層と健康」では、さまざまな分野の研究者約50人が集まり、5年間にわたって健康の社会格差の実態、その原因、対策のあり方について研究を進めてきました。

このシンポジウムではその成果をご報告し、人々が等しく健康を享受できる社会のあり方について議論します。専門家だけでなく、関心のある一般市民の方のご参加をお待ちしております。

- 10:00-10:15 挨拶 新学術領域「社会階層と健康」の概要と成果 領域代表 川上憲人(東京大学)
- 10:15-11:45 シンポジウム1「日本の健康社会格差—その原因は何か」 座長 橋本英樹(東京大学)
藤原武男(国立成育医療研究センター)
小塩隆士(一橋大学)
片瀬一男(東北学院大学)
大平英樹(名古屋大学)
- 11:45-12:15 パネル1「東日本大震災は健康社会格差にどんな影響をもたらしたか」
黒川修行(宮城教育大学)
麦倉 哲(岩手大学)
- 12:15-14:15 昼休み
- 14:15-15:15 シンポジウム2「人々のつながりは健康社会格差を解決できるか」 座長 盛山和夫(関西学院大学)
原田 謙(実践女子大学)
柳沢志津子(徳島大学)
- 15:15-15:45 パネル2「健康社会格差に対する市民からの提言」
市民パネルモニター2名
- 15:45-16:00 休憩
- 16:00-17:30 シンポジウム3「健康格差社会をこえた国づくりへ」 座長 小林廉毅(東京大学)
阿部 彩(国立社会保障人口問題研究所)
福田吉治(山口大学)
杉澤秀博(桜美林大学)
近藤尚己(東京大学)
- 17:30- 閉会

東京大学本郷キャンパス内 医学部教育研究棟14階

鉄門記念講堂

平成26年2月12日(水)

10時00分～17時45分

参加費無料・事前登録不要

主催

東京大学大学院医学系研究科

精神保健学分野

03-5841-3364 (平日10時-16時)

領域ホームページ

<http://mental.m.u-tokyo.ac.jp/sdh/>

